

## 第2回宮崎県教科用図書選定審議会 会議概要

### 1 日時

令和6年5月24日（金） 午前9時から午後4時まで

### 2 場所

宮崎県防災庁舎 防51号室

### 3 出席者

#### (1) 委員（20名出席）

多良真知子委員、伊東泰彦委員、宮本朝美委員、金澤由紀子委員、上野武志委員  
守田和彦委員、仲本裕子委員、三輪正憲委員、日高圭一委員、才名園栄津子委員  
小侍祐一委員、安影亜紀委員、今西秀人委員、立元真委員、田宮昌子委員、  
長友美紀委員、於田広信委員、福島梓委員、森山慎作委員、永迫美紀委員

#### (2) 事務局

義務教育課長、義務教育課課長補佐

義務教育課主幹（義務教育・学力向上第一、第二担当）

義務教育課副主幹（義務教育・学力向上第一担当）

義務教育課指導主事（義務教育・学力向上第一担当）

特別支援教育課副主幹（指導担当）

特別支援教育課指導主事（指導担当）

### 4 議事内容

#### (1) 会長あいさつ

#### (2) 議事

- 令和7年度使用中学校用教科用図書研究資料について
  - ・ 研究資料作成の経過の報告
  - ・ 専門調査員からの説明及び質疑
  - ・ 総括質疑及び審議
- 令和6年度宮崎県教科用図書選定審議会の答申について
  - ・ 事務局からの提案
  - ・ 質疑及び審議

#### (3) その他

#### (4) 県教育委員会あいさつ

## 5 要旨

- 義務教育課課長補佐が教科書研究資料作成の経過について報告し、専門調査員の説明を受け、質疑応答及び審議が行われた。
- 義務教育課主幹（義務教育・学力向上第一担当）及び特別支援教育課副主幹（指導担当）が令和6年度の答申案について説明し、質疑応答及び審議が行われた。

## 6 主な質疑及び審議内容

### (1) 令和7年度使用中学校用教科用図書研究資料について

#### 〈国語・書写〉

Q： SDGsの観点について、発行者ごとの掲載の多少はありましたか。

A： 各発行者ともSDGsと関連づけた教材は配置しており、掲載の多少については大きな違いがないと捉えております。

Q： 新聞などの実用文が取り上げられているかについて、掲載の多少についての前回の比較はありますか。

A： 前回と大差がないと理解しております。

#### 〈社会・地図〉

Q： 紹介されている思考ツールについては、発行者ごとに大差はないというように理解してもよろしいでしょうか。

A： 思考ツールの内容や説明の仕方については、大差はないと捉えております。

Q： 興味・関心が高い生徒に対して、ICT等を活用して調べていけるような工夫について研究されていれば教えてください。

A： ほとんどの発行者がデジタルコンテンツを使用するための二次元コードを随所に配置しております。その中に動画、ワークシート等や実際に地図を動かすことができるようなツールも入っております。一人一台端末を使用することで、自分なりに学習を進めたり、分からないところを自分で学び直したりすることができるような工夫が見られます。

Q： デジタルコンテンツについては、各発行者で大きな違いはないという捉えでよかったでしょうか。

A： 資料を動画等で詳しく見られたり、ワークシートを活用できたりと、どの発行者も生徒が学びやすい工夫が見られました。

Q： 今回の改訂の期間中に、軍事侵攻や領土を巡る戦闘が起きていますが、領土を巡る記述や地図記載で最新の情報が記載された等があれば、教えてください。

A： 歴史を中心にほとんどの発行者において、ウクライナ侵攻について触れられていました。

〈数学〉

Q： 理解度に応じた学習を進めることができる工夫という報告がありましたが、どの発行者も、理解が不十分な生徒への補足的な学習やより発展的な学習の充実が図れるような内容になっているのでしょうか。

A： 深い学びについては、身近な身の回りにある出来事を数学につなげるような課題を章末問題の最後に配置をしている発行者も複数ございます。また、数学が苦手な生徒に対する対応につきましては、各発行者ともデジタルコンテンツを配置し、個別最適な学習が進められるよう、答えだけでなく考え方が示されるような提示をしております。

Q： 二次元コードで読み取ると、端末上でも練習問題ができるようになっております。教科書を持ち帰らなくても課題に取り組めるため、自学自習の時間でも十分使えるように思われますが、そのような認識でよいのでしょうか。

A： 教科書の問題を使っても、二次元コードを読み取っても学習でき、両方の状況を担保できております。

〈理科〉

Q： 各発行者で実験の取扱いにつきまして、デジタルコンテンツの活用を含め工夫があれば教えてください。

A： デジタル教材と実験との関係ですが、例えば、実験前に動画を見て技能を習得する、記録を取る際にデジタルコンテンツを使って記録をするといったように、実験とデジタルコンテンツを融合させる工夫は各発行者とも見られます。

Q： 小学校における既習事項がどのように取り扱われているかについて教えてください。

A： 小学校の繋がりについては、章の初め等に、小学校の学びを整理している工夫をしている発行者があります。

また、計算問題でつまずきやすいところについては、小学校の計算の式を説明して、さらに次の問題に生かせるような工夫をしている発行者もあり、どの発行者も小学校のつながりを意識していると捉えております。

Q： 風水害や地震など、防災に関する内容が非常に多くなっている中で、授業の中でその仕組みを学ぶことが大切であると感じております。前回の改訂から今回に向けてとの違いがありましたら教えてください。

A： 災害が発生する仕組み、災害を予測して日頃から備えていくことの大切さについて、災害写真等を示しながら記述されているような箇所もあります。

〈音楽一般・音楽器楽〉

Q： 最近の音楽の学習では和楽器を演奏することがあると聞いていますが、2者に違いであったり同じであったりというような特徴がありましたら教えてください。

- A： 両者とも、琴、三味線、篠笛等を技能として習得できるようにしています。  
また、和楽器に触れる機会が少ないので、短い曲から子供が馴染みやすいような楽曲を選択されているようになっております。

#### 〈美術〉

Q： どの教科書を見ても1と2・3と分けてあり、内容も絵や彫刻などとデザインや工芸などと分かれています。1年生と2・3年生では、同じような内容の学習をするのでしょうか。

A： 学習指導要領におきまして、美術科では、絵画、彫刻などという分野と、デザイン、工芸などという分野に分けられております。それぞれの活動のねらい等に応じて、表現や鑑賞の力を育てていくように構成されていますので、発行者もそれに合わせた構成や配列の工夫をなされています。

#### 〈保健体育〉

Q： 教科書によって体育分野と保健分野の配列の順序が異なっていますが、教える時の影響はありそうですか。また、教科書によって小単元の数に違いがありますが、指導する際の違いはあるのでしょうか。

A： 体育分野と保健分野の配列の順序が異なることについて、指導には影響がないと捉えております。保健分野については、学習指導要領で3年間を通じて48時間程度と定められており、その構成につきましては、各発行者によって工夫がされています。

Q： デジタルコンテンツの数について、その違いを教えてください。

A： 教科書会社によってデジタルコンテンツの違いはございます。実際にアクセスしてみますと、生徒が活用しやすいように映像があったり、様々なコンテンツにリンクされたりしております。

Q： 体の発達の内容について、主に1年生で学ぶ内容になっており、インターネット等を使った性犯罪等のトラブルについても、教科書の中で取り上げられていました。表現として、適切に記載されていたかについて教えてください。

A： 研究を進める中で、特にその行き過ぎた表現はございませんでした。多様化している時代ですので、健康課題も含め、掲載量に関しては、各発行者によって量が異なっておりました。

#### 〈技術・家庭（技術分野）〉

Q： 教科書の中で、キャリア教育の視点で特徴的なことがありましたら教えてください。

A： キャリア教育に関する内容については、各発行者とも掲載しております。東京書籍につきましては、「技術の匠」で実際の商業の紹介が掲載しております。教育図

書につきましては、「先輩に聞いてみよう」という資料、開隆堂につきましては、詳しいインタビューが資料として掲載しております。

Q： 小学校との関連について、教科書の中で工夫されていることがあれば教えてください。

A： 東京書籍につきましては、他教科との関連がある部分についてマークで示しております。教育図書につきましても、同様に小学校の学習や他の教科、社会生活との関連がある部分をマークで示しております。また、開隆堂につきましても、小学校図工や算数との関連についてまとめております。

#### 〈技術・家庭（家庭分野）〉

Q： 生徒の身近な課題、話題として、SDGsや防災に関する記述について、何か特徴的なことがございましたら教えてください。

A： 東京書籍では、巻末に「家庭分野とSDGs」を設け、持続可能な生活を目指した内容で構成されております。教育図書では、SDGsのロゴを掲載して、持続可能な社会の構築について、身近なことから行動に繋がられるように配慮されています。また、開隆堂では、各内容の最終章に「持続可能な生活」というページを位置づけ、生徒が持続可能な社会を目指して考え、行動できるよう工夫されております。

#### 〈外国語（英語）〉

Q： 教科書の中の登場人物の出身国についてはどのように記載されているのか教えてください。また、音声教材ではどの国の発音を取り上げているかについても教えてください。

A： 出身国の記載については、具体的な数は把握しておりませんが、記載があるものとないものと分かれております。教科書を中心に調査をしておりますが、CD、音声教材については、研究しておりません。

Q： 利便性の点で、二次元コードについて教科書ごとの工夫等がありましたら教えてください。

A： 各発行者とも二次元コードを教科書に掲載しておりまして、一人一台端末で読み取ることによって音声を聞いたり、画像を見たりすることができるような工夫がされております。

#### 〈特別の教科 道徳〉

Q： 他の教育活動との繋がりが非常に大事かと思いますが、そういったところについて特徴的なところがありましたら教えてください。

A： 例えば、総合的な学習の時間等との繋がりににつきましては、SDGsに関連した道徳の項目もございます。

(2) 令和6年度宮崎県教科用図書選定審議会の答申について

全会一致で承認